

2021年8月2日

北海道知事 鈴木直道 殿

北海道民主医療機関連合会
会長 小市 健一

【要請書】

マラソン、競歩の中止を政府と大会組織委員会に要請してください

日々、新型コロナウイルスの感染拡大防止と道民生活の向上にご尽力されていることに敬意を表します。

北海道内の感染状況は7月半ばから急拡大し、まん延防止等重点措置が適用されました。また東京に加え首都圏3県と大阪府にも緊急事態宣言が発令されました。このような時期にマラソンや競歩を札幌で行うべきではありません。

競技が実施されれば、選手、関係者に加え、首都圏を含む全国から観戦のために人が訪れることが予想されます。知事も認めておられるように、路上競技は無観客での対応が難しいのが現実です。仮に沿道の密は避けられたとしても、人流の増加による全道への感染拡大は必至です。5月の「テストイベント」後の感染急拡大を繰り返すことは許されません。

医療関係者の中からは、「すでに第5波が始まっている」という指摘や、医療の逼迫を懸念する声が上がっています。デルタ株も広がりつつあるという新たな感染拡大の中、住民のワクチン接種も十分に進んでいないもとで、道民の命を危険にさらしてまでマラソン、競歩を行う大義はないと考えます。

五輪よりも命が優先という立場から、北海道民主医療機関連合会は以下の点を要請します。

1. マラソンと競歩の競技中止を政府と大会組織委員会に要請してください。

以上